

南予地域柑橘農業復興対策チーム第23回会議の概要

令和7年7月1日（火）13:00～
南予地方局7階大会議室及び現地

1 室内会議

- ① 再編復旧工事は、事業費ベースの進捗率が玉津地区で6割、立間地区で3割となっており、一部で植栽が開始されている。
- ② 営農支援策の取組状況について、早期成園化に向け、土壌改良や芽かき、摘心等をはじめとする基本管理を周知徹底。苗木の生育促進のため、保水効果のある資材を実証。
- ③ 昨年度収穫量が激減した要因として、開花時(5月)の高温、カメムシの大量発生、夏場の高温、鳥獣被害の増大等があった。今年は梅雨明けが早く、既にかん水の必要性が出るなど、今後の高温対策が重要となる。

有害獣対策については、イノシシに加えウサギ等の小動物の対策も必要。

2 現地研修

- ・ 労働生産性を高める傾斜園地作業効率化モデル整備事業の取組事例【柿原園地】と今年度植栽された再編復旧園地【玉津地区法花津工区】を視察。



【復旧園地の営農再開状況や営農支援策等の情報共有】



【傾斜園地作業効率化モデル整備事業の取組事例視察（柿原園地）】



【今年度植栽した再編復旧園地視察】